

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

|                |   |             |    |         |   |      |                     |     |    |
|----------------|---|-------------|----|---------|---|------|---------------------|-----|----|
| 授業科目名<br>科目コード | 地域活性化論 (Regional Vitalization)<br>2036022-073 |             |    |         |   | 担当教員 | 栗井 英大<br>(クリイ ヒデヒロ) |     |    |
| 科目区分           | 専門科目  | 必修・<br>選択区分 | 選択 | 単位<br>数 | 2 | 配当年次 | 2年次                 | 開講期 | 後期 |
| 科目特性           | 地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 外部講師招聘科目               |             |    |         |   |      |                     |     |    |

|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ① 授業のねらい・概要   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>地方の衰退の流れに抗い、地域を活性化し、明るい未来を築くべく、全国各地で様々な人々が多様な活動を展開している。</p> <p>本講義では、実際に地域を活性化させている具体的な事例をテーマ別に学ぶ。また、具体的な地域活性化事例を通し、その成功のポイントならびに実践活動の概念、実態、取り組み方を学ぶ。</p> <p>自主的・自発的な取り組みを促す授業を通じて。地域の現状を分析する力、および地域活性化に向けた実践活動の基礎的な知識・ノウハウを身につける。</p> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ①地域社会に貢献する姿勢 / ②職業人として通用する能力を養う。  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ 授業の進め方・指示事項   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。</p> <p>正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。</p> <p>日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。</p>                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 「地域経営」  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ 標準的な達成レベルの目安  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>(i) 地域活性化事例を理解・説明することができる。</p> <p>(ii) 地域活性化手法を理解・説明することができる。</p> <p>(iii) 地域活性化手法を用い、地域活性化の具体策を構築することができる。</p>  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ テキスト (教科書)  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑦ 参考図書・指定図書   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

清丸恵三郎（2016）『地方の未来が見える本』洋泉社  
 佐藤可士和・四国タオル工業組合（2014）『今治タオル奇跡の復活』朝日新聞出版  
 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

| 具体的な学習到達目標              | 試験   | 小テスト | 課題  | レポート | 発表・<br>実技 | 授業への<br>参加・意欲 | その他 | 合計   |
|-------------------------|--|------|-----|------|-----------|---------------|-----|------|
| 総合評価割合                  | 60%  |      | 15% | 20%  |           | 5%            |     | 100% |
| (i) 地域活性化事例の理解・説明       | 20%  |      | 5%  | 8%   |           | 2%            |     | 35%  |
| (ii) 地域活性化手法の理解・説明      | 20%  |      | 5%  | 7%   |           | 2%            |     | 34%  |
| (iii) 地域活性化手法を用いた具体策の構築 | 20%  |      | 5%  | 5%   |           | 1%            |     | 31%  |
| フィードバックの方法              | 初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。 |      |     |      |           |               |     |      |

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

より多くの全国・県内の地域活性化事例を紹介する。

⑩ 授業計画と学習課題

| 回数 | 授業の内容               | 持参物  | 授業外の学習課題と時間（分）                           |
|----|---------------------|------|--|
| 1  | 講義ガイダンス<br>地域活性化とは？ | 筆記用具 | 講義の復習、地域活性化とは？<br>地域活性化のためにできること<br>90分  |
| 2  | 農業活性化①米・果物          | 筆記用具 | 講義の復習、天空米・奇跡のリンゴ<br>を食べたくなる理由は？<br>90分   |
| 3  | 農業活性化②ブランド化         | 筆記用具 | 講義の復習、ブランド化された商品<br>とその背景にあるストーリー<br>90分 |
| 4  | 農村活性化               | 筆記用具 | 講義の復習<br>農協の事業内容<br>90分                  |
| 5  | 山村活性化               | 筆記用具 | 講義の復習、「ゼロ・ウェイスト運<br>動」とごみの分別<br>90分      |
| 6  | ものづくり活性化①繊維産業       | 筆記用具 | 講義の復習<br>高価格商品とその理由<br>90分               |

|    |                   |                 |                       |     |
|----|-------------------|-----------------|-----------------------|-----|
| 7  | ものづくり活性化②金属加工     | 筆記用具            | 講義の復習<br>伝統的工芸品       | 90分 |
| 8  | 商店街活性化①再開発        | 筆記用具            | 講義の復習<br>商店街活性化の取組み   | 90分 |
| 9  | 商店街活性化②町並み再生      | 筆記用具            | 講義の復習<br>着地型観光        | 90分 |
| 10 | 地域再生              | 筆記用具            | 講義の復習<br>空き家再生        | 90分 |
| 11 | 観光活性化①芸術          | 筆記用具            | 講義の復習<br>観光活性化        | 90分 |
| 12 | ◆観光活性化②温泉地        | 筆記用具            | 講義の復習<br>聖地巡礼         | 90分 |
| 13 | 観光活性化③聖地巡礼        | 筆記用具            | 講義の復習<br>再生可能エネルギー    | 90分 |
| 14 | 観光活性化④自然エネルギー     | 筆記用具            | 講義の復習<br>地域活性化のポイント   | 90分 |
| 15 | 観光活性化⑤雪<br>講義のまとめ | 筆記用具<br>全ての配布資料 | 講義の復習<br>期末試験に向けた準備学習 | 90分 |

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。

- ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
- ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。

##### 実務経験と授業科目との関連性

県内外の地域活性化事例に触れ、各種レポート作成に携わった経験を生かし、地域を活性化した具体的な事例を分かりやすく紹介する。